



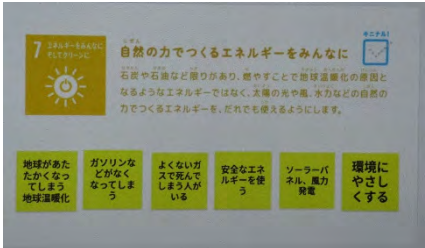







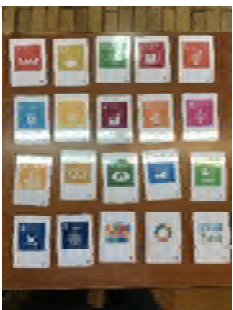

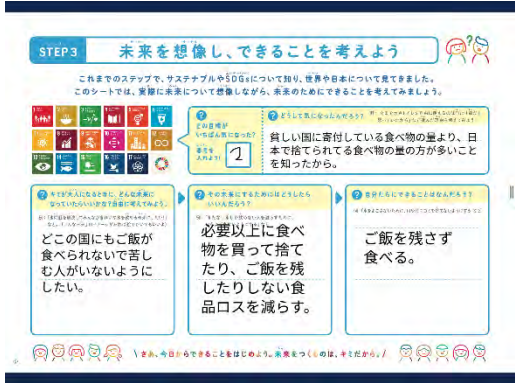




単元名	私たちにできること	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	国語科 総合的な学習の時間
教科の目標	SDGsに関し、自分自身でできることや地域でできることの提案文を書くために、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にして文章を書いている。	
実践の様子	<p>①「私たちにできること」を確認し、単元の目標をつかむ。</p> <p>②SDGsカードを使い、17のゴールの中から、地域の課題は何かを話し合う。</p> <p>③様々な考えの中から、自分自身で地域の課題として一つ選択し、その課題を解決するための提案をする文章を書く。</p> <p>④書いた文章を互いに読み合い、意見交換を行うことで、様々な考え方がありととも、多面的な見方や考え方が身に付くようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工夫して水を世界に届ける</p> <p>1、提案のきっかけ SDGsについて調べていたら6の「安全な水とトイレを世界中に」という目標をみて世界の3分の1が飲めてない知り、驚いたので6番を選びました。 さっきもいった通り世界の3分の1が安全な水に水を飲めていないです。また、トイレを使えていない人も世界の半分います。手を洗う時など水を出しっぱなしにしていたり、蛇口をよく閉めなかったりと水の無駄です。日本は管理されている水を飲んでいるので水は大丈夫だと思ってしまうので知ってもらう必要がある。</p> <p>2、提案 (1) ポスターをはる 蛇口を閉めてもらうために、手洗い場の近くにポスターをはる。 これは、絵や字を書けばわかりやすく、手洗い場の近くなのですぐに実行できます。 具体的には、次のような字を書かれたポスターをはる。 ・蛇口をしっかり閉めよう ・水を出しっぱなしにしないようにしよう。 ・水が出たら閉めよう こういうポスターをはるにより手を洗った後などにしっかり閉めてくれると思う。また、水が出ているのを見かけたら教えてくれると思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(2) 世界の水問題を知らせる 日本以外の国の水問題を知らせるために廊下などに水について書かれているものをけいじすることを提案する。 これは、現状を教えてポスターのように取り組んだ方が良いということを教えるためだからだ。 具体的には、次のようなことをけいじすると考えている。 ・世界の現状と問題 ・日本はどれくらい使っているか ・私たちに何ができるか このことをすると水は大事に使った方が良いとわかり水への意識が高まると思う。</p>  </div>	

単元名	SDGsについて知り、総合的な学習の時間に生かそう。(3年・4年複式学級)	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	学級活動 総合的な学習の時間
教科の目標	SDGsについて知り、低学年生でも分かるようなSDGsカードを作ることができる。学んだことを生かし、総合的な学習の時間におけるまとめ学習で活用することができる。	
実践の様子	<p>1 SDGsについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 課 SDGsについて知ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセサイト動画「SDGsってなんだろう？」を視聴し、SDGsの概要を知る。 ・SDGsジャーナルサイト動画「小学生からのSDGs」を視聴し、分かったことを話合う。(タブレット端末にまとめていく：教師) ① ・教室の中にあるものの中で、SDGsに関連があるものを見つけてSDGsカードを貼る。② <p>2 学んだことを生かしてSDGsカードをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>② 課 1・2年生にもよく伝わるような、SDGsカードをつくろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇しよう」と呼びかけるようなSDGsカードをつくる。 ・タブレット端末にまとめた画面(①)や動画を見ながら、1・2年生にも伝えられるような言葉で、目標となる言葉を考える。決まった言葉をカードに書く。(グループで) ③ ・作ったものを全体で共有する。④ ・総合的な学習の時間に関連があるカードを見つける。 <p>「かすみがうらの自然」に関するもの(3年生)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>「福祉」に関するもの(4年生)</p>	<p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>③</p>  <p>④</p> 

単元名	環境について学ぼう	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	SDGsを知ろう。	
実践の様子	○SDGsが何なのか知るために、ロゴや言葉に触れる機会をつくる。	
	<p>① ベネッセのSDGsアイデアシートで17の目標について簡単に確認する。</p>  <p>② SDGsカード(自作)ではば抜きを行い、ペアができた人がゴー・ゴールズの質問カードを引き、班の人に問題を出す。</p>      <p>質問カードで気になったことをSDGsシートにチェックする。 (「私たちが目指す世界」の該当する目標を参考にした。)</p> 	


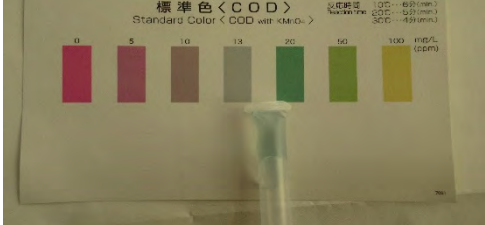




※「ゴー・ゴールズ！ すぐろくでSDGsを学ぼう」は、国際連合広報センターが作成した教材です。



単元名	SDGs について調べよう	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	SDGsの基本的な内容について調べ学習を行い、様々な課題について自分ごととして捉え日常生活の中でできることを積極的に考えようとする児童を育成する。	
実践の様子	<p>○教師による SDGs コーナーの設置 児童が SDGs について頻繁に目にするような場面を設定して、興味・関心を高めようと考えた。より多くの児童の目に触れるように校内の廊下に SDGs コーナーを設置した。</p>  <p>1 各グループに SDGsカードを配付 カードを使って全体的にどのようなゴールがあるのかを知り、グループ内で調べる対象のゴールを分担し、インターネットを活用して調べ学習を行った。</p> <p>2 選択したゴールについて調査 各自が調べた内容を A4 1枚の用紙にまとめた。</p> <p>3 新聞にまとめる 調べた内容について発表を行ったあと、資料は教室に掲示した。</p>  <p>今後の課題 世界の様々な課題について自分ごととして捉え、身近な場面でできることを考え実践していく態度を育成するためには、今後も継続した学習活動が必要である。総合的な学習の時間を軸に、様々な教科・領域と関連させながら学習を進めていかなければならないと感じている</p>	

単元名	「世界に目を向けよう」	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを旨とする。	
実践の様子	<p>① 1学期の復習も兼ねて、「SDGs すごろく」を行った。クイズのますに止まったら、出題者は「目標〇番の問題です。」と「SDGs カード」を掲げ、問題を出題した。</p> <p>このすごろくを行ったことにより、児童が今後「SDGs」について調べていくことの動機付けや、理解を深めるための手段になったと思う。</p> <p>また、児童達が「SDGs」について語り合うきっかけにもなったと考える。</p> <p>② 今まで調べてきたことや、夏休みからオンライン期間中に決めた課題について、「SDGs カード」を見せながら発表をした。</p> <p>発表者は、「SDGs カード」を見せながら発表することで、自分が発表することが明確になった。</p> <p>また、聞き手も、「SDGs カード」を見ながら聞くことで、今何の目標について話がされているのかを常に確認しながら発表を聞くことができた。</p> <p>③ 課題について調べてきたことについてのプレゼンテーションを行う。</p> <p>まとめでは、「SDGs カード」を使って、今自分ができること発表をする。</p>	




※「ゴー・ゴールズ！すごろくでSDGsを学ぼう」は、国際連合広報センターが作成した教材です。

単元名	〇〇地区の環境を守ろう	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	身近な行動から環境を守るための考えをもつことができる。	
実践の様子	<p>① 〇〇川の水質調査</p> <p>学区を流れる〇〇川の水質調査を実施した。</p> <p>見た目ではきれいな水だと思っていた川が、実は汚れや匂いが強いことに気が付いた。</p> <p>水質調査をし、SDGsカードの何番にあてはまるかをグループで考える活動を取り入れた。</p>	
		
	<p>② クリーン作戦</p> <p>学区のクリーン作戦を実施した。学区地図を活用しながら、ゴミが多い場所を記入していった。さらに、ゴミの種類別の重量を計測し、どんなゴミが、どこに多いのかを考えた。ゴミを減らすことで、SDGsカードの何番に近づくことができるかを考えた。</p>	
<p>③ SDGsに取り組もう!新聞紙で掃除!</p> <p>「自分たちにできる SDGsに取り組みたい」という願いを清掃で実践した。新聞紙を使って窓を拭く活動を実施した。活動後は、SDGsカードの何番につながるのかを話し合った。</p>	 	

単元名	「SDGs を学ぼう！未来へアクション！」	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標ねらい	SDGs について知り，17 の目標の中から課題を選択し，身近な生活の中で自分たちにできることを考え，実践することができる。	
実践の様子	<p>① SDGs の目標17を分類する活動について</p> <p>・SDGs の目標が17あることを確認し，その一つ一つの課題や各国の取り組みについて調べた。児童は，関係の深い目標があることに気づき，カードを活用して分類した。また，タブレットで写真を撮るなどして，共有したり，記録したりすることができた。</p>  <p>② 日常と繋がる SDGs について</p> <p>・ESD 室や教室に SDGs カードを常時掲示し，生活の様々な事象や課題が SDGs と関係があると気が付いたときに，自由に活用し，共有できるようにした。日常が SDGs と深い繋がりがあると気付くことで SDGs の課題を自分事として捉え，目標を達成するために自分にできることを考えられるようになった。</p> 	

単元名	ぶどう園で体験したことを生活にいかそう(3年生)	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	地域の特産物であるぶどう作りの体験を通して、自らの居住する地域の良さを知るとともに、土地の持続可能な管理の仕方について学ぶことで、自分たちの生活と環境を自分事としてとらえ、自らの生活や行動に生かすことができる。	
実践の様子	<p>①SDGs 17の目標を知る。 「いろいろな内容がある。」 「面白そうだ。」</p>  <p>②17の目標とぶどう園で体験したことの関連性を話し合う。 「どんなことが関連しているのか。」 「ぶどう園体験で学んだことを思い出そう。」</p>  <p>③ぶどう園体験で学んだことの中で、児童が関わりがあると考えたカードを選び、理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い教育について 「ぶどうを育てるため、土の作り方や水やりのしかたを勉強していたから。」 ・つくる責任 つかう責任 「父がぶどう園農家なので、おいしいぶどうを作り、皆さんに食べてもらうために工夫することが大事だと思ったから。」 ・陸のいのちを守ること 「落ちたぶどうの葉や実はぶどうの木の養分になるから。」  <p>④世界各国の「ありがとう」の言い方を調べる。 ・「こんにちは」「さようなら」はどんなふうにするのだろう。</p>  <p>⑤まとめ 「他にも関連することがありそうだ。」 「日本以外の国についても調べてみたい。」</p>	

単元名	世界の問題を自分ごとに	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	17のゴールの具体的な問題を知る。	
実践の様子	<p>①教室の背面の児童の手の届く高さの所にSDGsカードを掲示する。</p> <p>②SDGs for School 事務局（一般社団法人Think the Earth内）の事業で寄贈いただいた書籍『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』を活用し、児童それぞれが課題意識を持った目標について調べ、新聞にまとめる。</p> <p>③調べたことを実践化するため、それぞれの目標を進めることにつながっていると思われる自分の行動を付箋に書き、SDGsカードに貼っていく。</p> <p>④朝の会などで貼られた付箋を紹介する。</p>  <p>付箋で貼られた内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなとなかよく遊んだ。（5 ジェンダー平等を実現しよう） ・流れっぱなしの水道をとめた。（6 安全な水とトイレを世界中に） ・電気をこまめに消した。（7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに） ・エコバックを持って買い物に行った。（14 海の豊かさを守ろう） <p>学級内で、付箋の内容を紹介すると、その後はどんどん付箋が増えていった。児童の中に少しでも水を大切にしようという意識が芽生えていったとしたら、意味のある活動であったのではないかと考える。</p>	